

資料3

建設場所の比較検討案について

1 建設場所の候補について

「村立小学校の整備に向けた基本方針」に基づき、施設一体型の小中一貫校として、既存の中学校と接続した小学校の整備を検討しております。

現状の中学校敷地を踏まえ、小学校の建設場所（ゾーン）については、以下の3案を候補として想定しています。

案1：中学校校舎東側

案2：中学校体育館南側

案3：中学校校舎南側

なお、小中一貫教育の特色を最大限に活かすため、小・中学校教員の緊密な情報連携を重視し、新設する小学校校舎内には小・中合同の職員室を設置したいと考えております。

※これまでの整備委員会にて協議した内容の再掲となります。

2 候補地の比較検討について

3つの候補地について、中学校との連携や既存施設との関連・動線を考慮し、以下の項目を中心とし別紙の通り比較検討を行いました。

- ・小学生（児童）の動線
- ・小学校と中学校の交流・連携
- ・教員の動線
- ・車の動線（配膳車両等）
- ・職員室から校庭への見通し
- ・校舎と駐車場の関係
- ・既存施設等との関係（中学校校舎・体育館・グラウンド等）

なお、別紙の比較表における配置箇所の図示については、あくまで大枠を示すものです。基本構想策定後、具体的な配置位置や中学校との接続方法などの詳細を検討していきます。

3 比較検討を踏まえた候補地の選定（方針）

比較検討の結果、各案の特徴は以下の通りとなりました。

案1： 中学校との連携面の課題は少ないが、既存施設等との関連や動線面が△。

案2： 既存施設等への影響は少ないが、中学校との連携面が△。

案3： 課題はあるものの、総合的に◎。

以上の比較結果を踏まえ、小中一貫教育の効果を最大限に発揮できる配置として「案3：中学校校舎南側」を選定したいと考えております。